

10 月 24 日 : 上昇ラリーが継続

VN30 指数の大型株を中心に上昇したことを受けて、VN 指数は大きく上昇し 990 ポイントの壁を越えて取引を終えた。

ホーチミン取引所の VN 指数は今後も上昇が見込まれており、997-1000 ポイントを試す展開になると思われる。銀行、不動産、小売などが中心となるだろう。短期的にはビンコムリテール (VRE)、ビナミルク (VNM)、ベトジェット航空 (VJC) などが上昇を継続すると見込まれている。

186 銘柄の上昇に対し、135 銘柄が下落した。VN 指数は 5.81 ポイント上昇し、993.6 ポイントで引けた。売買代金は 5% 上昇したが、出来高は 11% ほど下落した。

ベトコムバンク (VCB)、ペトロベトナムガス (GAS)、VRE などの主力株が 1% 以上の上昇。モバイルワールドインベストメント (MWG)、FPT グループ (FPT)、HD バンク (HDB) などは 3% 以上上昇した。

ビンググループ (VIC)、サイゴンビール (SAB)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、ベティンバンク (CTG) なども指数の上昇に貢献した。

VN30 指数の中で下落した銘柄はマッサングループ (MSN)、テクコムバンク (TCB)、FLC ファロス建設 (ROS)、VP バンク (VPB) などであった。

ROS は最も取引された銘柄で、出来高が 2400 万株だった。ホアファットグループが出来高 500 万株でそれに続いた。

FLC グループ (FLC) は 2 営業日連続のストップ安の後、0.5% ほどの上昇で終えた。

指数は大きく上昇したが、外国人投資家は売り越しに転じた。450 万株、売買代金にして 850 億ドンを売り越した。

GTN フーズ (GTN) は 439 万株の売り越しだった。また、ビンホームズ (VHM) も 340 億ドンの売り越しで、VIC、ROS がそれに続いた。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.49% 上昇し 104.64 ポイントで取引を終えた。41 銘柄の上昇に対し、39 銘柄が下落した。



ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。